

ノリ養殖環境速報 KH-01-10 (播磨灘)

令和2年2月5日 発行

調査年月日：令和2年2月3,4日

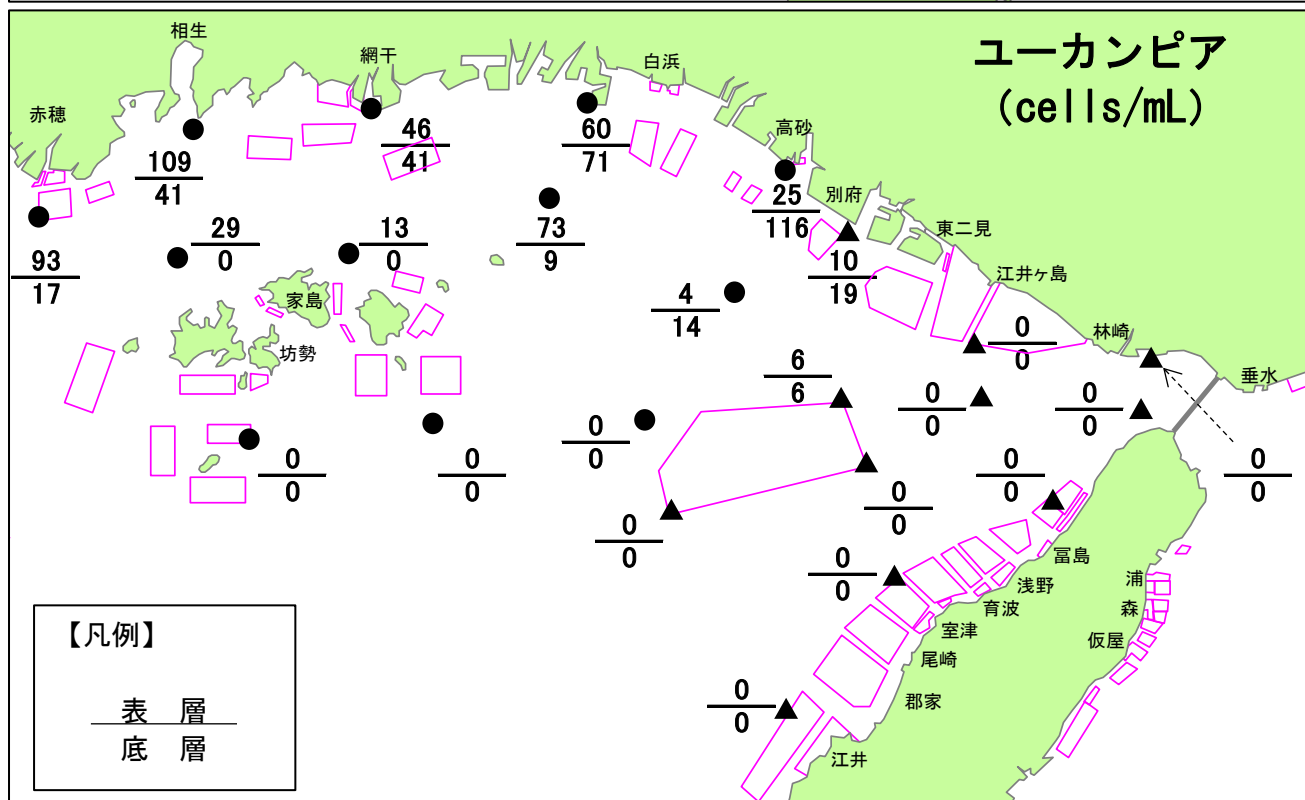
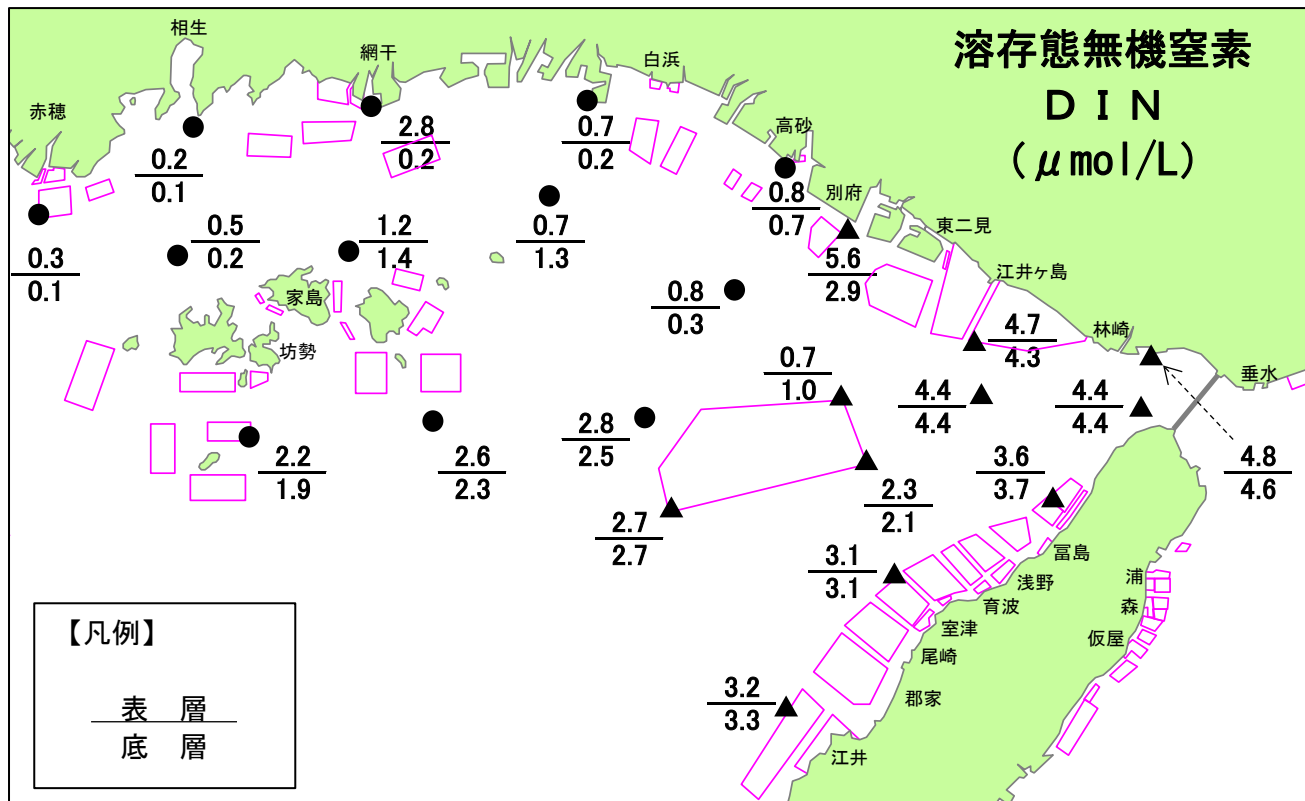
[調査箇所は地図上に●(西部)および▲(東部)印で表示しています。]

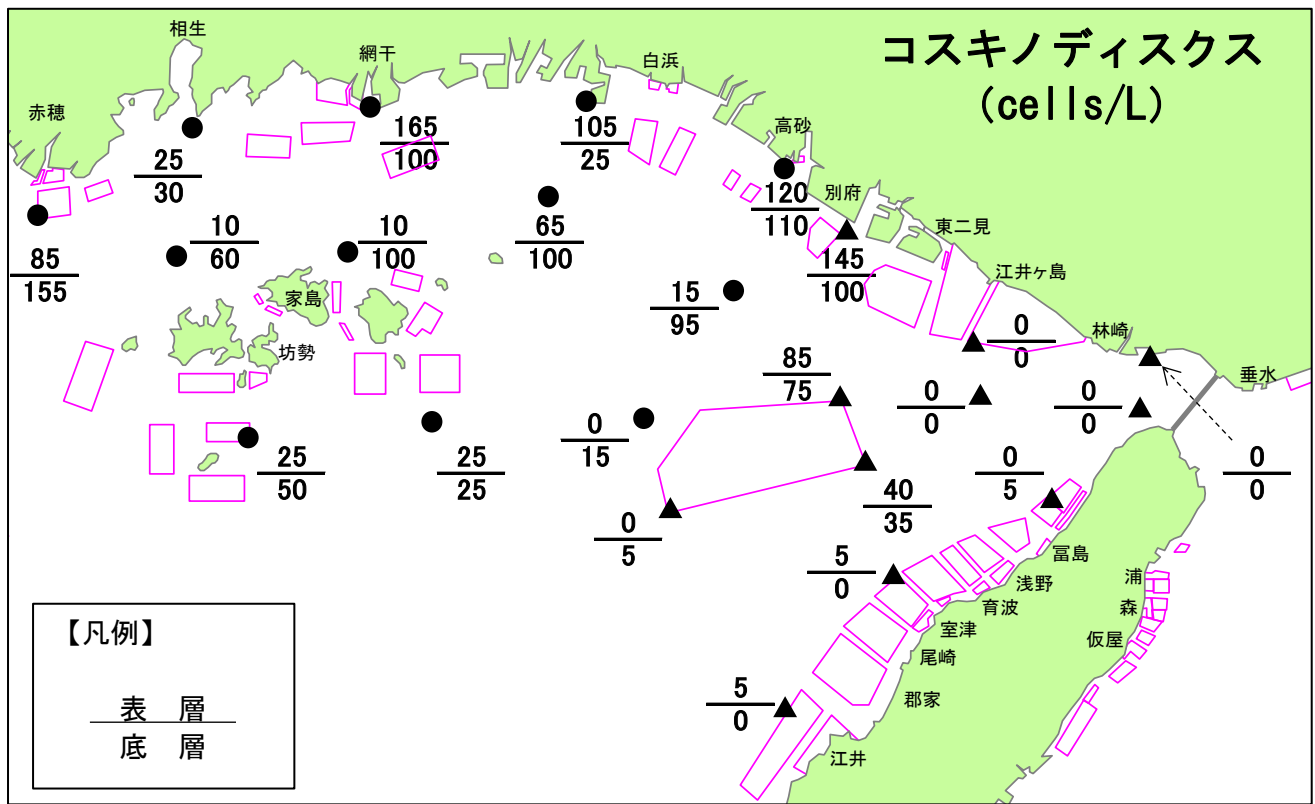
概況

播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、西部では0.2~2.8 $\mu\text{mol/L}$ 、東部では0.7~5.6 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。高砂から赤穂にかけての沿岸部では、網干を除いて1.0 $\mu\text{mol/L}$ 以下と低い値になっています。

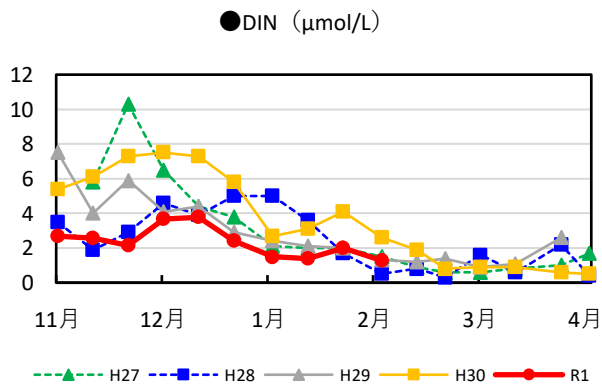
大型珪藻のユーカンピアは北西部沿岸域に分布していますが、発生量は少ない状況です。

水温は、白浜以西では9.8~12.9 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では10.5~11.7 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺では11.3~11.5 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では11.6~12.3 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では11.3~12.0 $^{\circ}\text{C}$ でした。

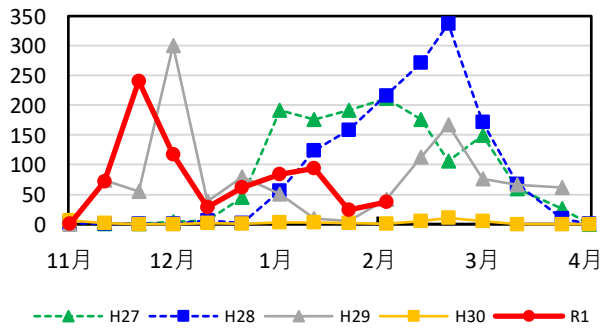




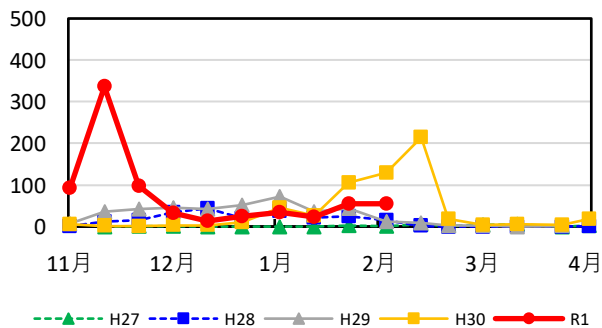
西部(●)12点 表層平均



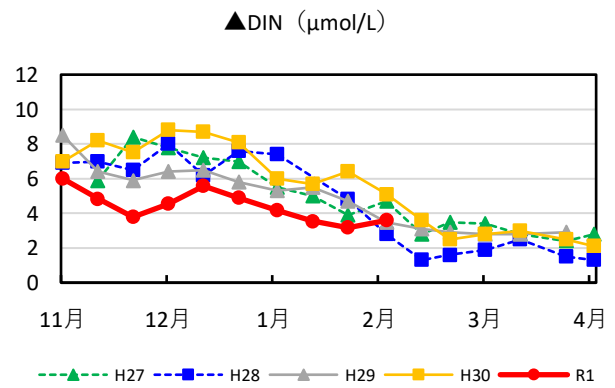
●ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)



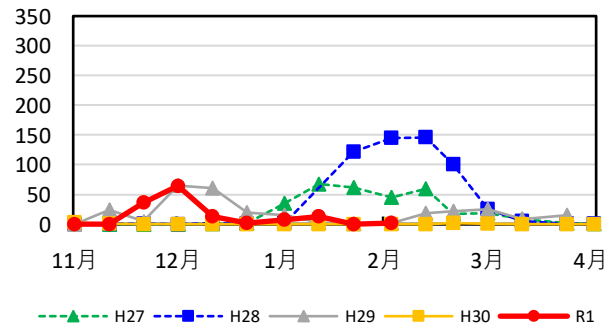
●コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)



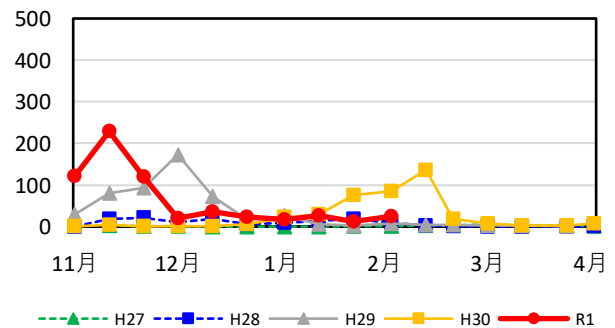
東部(▲)11点 表層平均

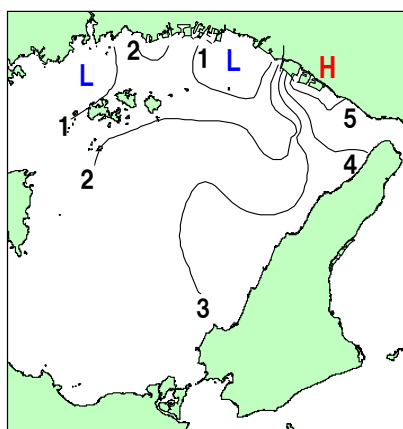


▲ユーカンピア細胞密度 (cells/mL)

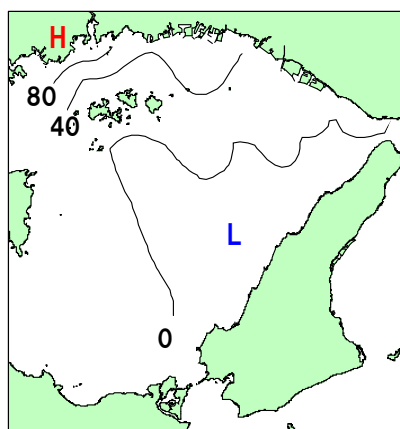


▲コスキノディスクス細胞密度 (cells/L)

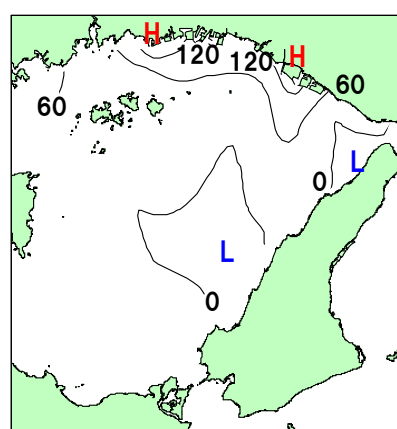




DIN濃度 (μmol/L)



ユーカンピア (cells/mL)



コスキノディスクス (cells/L)

令和2年2月3,4日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は、北東部沿岸から淡路島沿岸にかけて高く、北西部沿岸で低い結果でした。家島諸島以南の広い範囲で2~3μmol/Lとなっていますが、今後は雨の予報もないことから、例年通り日が進むにつれて徐々に濃度が低下していく見込みです。

北西部海域で多く発生していたユーカンピアは、前回同様発生量は少ない状況です。しかし、コスキノディスクス・ワイレシーが北部沿岸海域を中心に発生していますので、今後の動向にご注意下さい。

週間天気予報 気象庁 2月4日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で曇り、雪や雨の降る日が多い見込みです。中部や南部では気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。

最高気温は、平年並か平年より高いですが、明後日(6日)は平年より低い見込みです。

最低気温は、平年並か平年より高いでしょう。

降水量は、平年より少ない見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の情報は2/3に、香川県の情報は2/4に更新されています。
- ・他県の調査については、以下のURLから参照してください。

岡山県：<http://www.pref.okayama.jp/page/579394.html>

香川県：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouthou.htm>

【参考】栄養塩の単位：μmol/L = μg-at/L = μM

【今後の予定】

・令和2年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。

・次回は令和2年2月14日頃に発行する予定です。

※この情報は、水産技術センターホームページ(<http://www.hyogo-suigi.jp/>)でもご覧いただけます。